

老朽原発 うごかすな！ ニュース

第81号

発行・老朽原発うごかすな！
実行委員会

【連絡先】
090-1965-7102

老朽原発・美浜3号うごかすな！

現地全国集会に300名が結集！

「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、原子力発電に反対する福井県民会議、オール福井反原発連絡会とともに7月24日正午、「美浜3号もう動かすな！現地全国集会」を美浜原発から海を隔てて望む「弁天崎」にて開催しまし



美浜原発を背に、中島哲演さんが開会の挨拶

た。全国から大型バスや自家用車などで300名が結集し、美浜3号動かすな！の声を美浜町内に響かせました。集会は、オール福井反原発連絡会の山本雅彦さんの司会で始まり、福井県民会議の代表委員である中島哲演さんが「美浜3号の置かれている再稼働直前の緊迫した現状と過酷事故になれば、関西圏1450万人の水がめである琵琶湖が汚染される危険を訴え運動をさらに盛り上げ再稼働をストップさせよう」と開会のあいさつでアピールし、地元美浜町の松下照幸町議からは美浜町での長い美浜原発との闘いの歴史が述べられました。各地からのリレートークとシユブ

レヒコールで「老朽原発もう動かすな！」を訴えました。その後、美浜町「はあとぴあ」駐車場に移動の後、町内デモで関電原子力事業本部に向かい、事業本部前で抗議集会を行うとともに、関電への申入れを行いました。関電は職員への対応はなく、警備員に申し入れ書を手渡しました。町内デモでは、玄関や道行く先々で手を振られる町民、会釈をされる町民のみならずと心のかようエールがかわされ、参加者は元気をいただきました。

「老朽原発うごかすな！実行委員会」は、1600人が結集した昨年12月5日の「老朽原発うごかすな！大集会」におおさか」をさらに拡大し、2100人が結集した5月29日の「老朽原発このまま廃炉！大集会」におおさか」を連続して開催し成功させて

きました。今回の現地全国集会で福井は、北から南まで参加の輪が広がり福井からのバスには30名が乗車し全体で約50名が参加し盛り上がりました。しかし美浜3号機は早ければ8月上旬にも再稼働されようとしています。オール福井では、30キロ圏内の

多くの車が、自治体要請や、8月1日に杉本福井県知事に申し入れを行います。美浜原発前での宣伝抗議行動など、やれる運動を全てやっていくぞと元気が出た全国集会でした。

(オール福井反原発連絡会 林 広員)

老朽原発うごかすな！ 全国集会に参加して 粘り強い執念の 闘いに学ぶ

18万から20万コロナ感染が1日にして蔓延し7・24全国集会が、危惧され私達仲間も当初参加メンバーが、次々変化しその対応にギリギリまで調整が求められました。朝8時に2台の車に名古屋駅前、鶴舞公園前で分散集合し養老サービスエリアで6名が合流。暑さ対策(水分補給)、マスク着用、消毒対策を厳守しながら集合場所の福井県美浜弁天崎にナビに従い向かう。

既に集合場所には、地元や岐阜、京都、奈良、和歌山などの人たちが待機しており、びっしりで縦列駐車。前の車と隙間が許されない程の多くの車が、私達の後からも兵庫播磨からの車などが。

始まる前に名古屋高裁 裁判官に提出する人権侵害訴訟の公正公明な裁判要請の署名活動を行う。

若狭湾、美浜原発が一望できる弁天崎での集会が、12時ジャストに、主催者代表として中島哲演さんの参集へのお礼の挨拶と闘いの歴史などから始まる。

車道路脇のそれほど大きくないスペースでの集会は、地元議員の方や、各地の市民運動の方の闘いの報告、40年

デモ第2グループの先頭



老朽原発廃炉訴訟の愛知からも草地妙子共同代表の運動の決意など次々報告され、約1時間15分を超え集会が終了。そこから、車で町役場に隣接する「はあとぴあ」迄移動ししばし休憩。大きな駐車場も全国からの集会参加者も増え、びっしり。

最終的には、300名の参加者、岐阜から15名超え、愛知から10名の参加者。反原発旗で轟く会場から、2班に分けて私達は、2班目の先頭を横断幕・幟・プラカードなどを掲げジャスト午後2時にスタートし、関電原子力事

業本部前までデモ行進。

関電前での、集会は申入書の紹介、地元議員活動報告、コールなど炎天下で45分給水をしながら対応。

その後町内でも40分余り町内の曲がりくねり、度々の橋渡りなど町内デモ。実に長い。若い時代以降くらいでありましたが、事務局の方で聞くと、この辺りはチラシの受取が多く賛同者が見えない形が多いため、細かく町内デモ

老朽原発・美浜3号うごかすな! 現地全国集会に参加して

を企画したとの事。納得!! 疲れなど言っておられない。廃炉にしなければという執念を感じ運動から教えられ学ばず。私達は、電力不足を盾に、脱炭素社会で原発再稼働を目論む政財界を許さない、全ての原発廃炉の勝つまで諦めない闘いをあらためて学んだ集会でした。

(老朽原発40年廃炉訴訟
市民の会事務局次長
武藤 聡)

7月24日(日)、カンカン照りの福井・美浜「老朽原発うごかすな!」の抗議行動に参加した。前倒し再稼働を阻止すべく、実行委員会から怒りのお誘いメールに、久しぶりに参加の予約電話を入れた。2012年6月大飯原発再稼働阻止実力行動を思い出した。京都駅前バスには東京からの参加も含め43人が乗り込み出発。バスの中ではマイクが廻され、自己紹介、近況や

意気込みを声にした。原発関連の話は尽きないが、安倍元首相の国葬問題に触れる方も複数いた。

美浜原発を間近に見える水晶浜は夏休みの子どもたちに明け渡し、少し離れた弁天崎で抗議集会が開かれた。遠くに見える美浜原発を背に中寫哲演さん(明通寺住職)のあいさつで始まり、現地での反原発運動の報告が続いた。真っ青な海と青空で景色は抜群だ

原子力事業本部前で抗議



や配管の損傷などが進み、過酷事故の危険度が急増することは多くが指摘するところ。しかし、電力会社や政府は、ウクライナ紛争によるエネルギー逼迫に乗じて、また、炭酸ガス削減を口実にして、危険な老朽原発の再稼働など、原発推進に躍起になっている。

「東京電力株主代表訴訟」で7月13日、東京地裁は、福島原発事故前の東電幹部の対応には「安全意識や責任感が根本的に欠如していた」と判決で延べ、東電旧経営陣に、原発事故によって東電に与えた損害13兆円の賠償を命じた。

町内ぐるぐるデモは、4時前までアピール。町民からデモ隊に「がんばれ」の掛け声もあり、灼熱で過酷な行動ではあったが清々しい1日を過ごすことができた。

開催準備にあたっていただいた事務局のみなさん、本当にありがとうございました。

(京都・水と緑をまもる
連絡会 佐々木佳継)

そもそも、原発が老朽化すれば、原子炉圧力容器の脆化

が、じりじりと焼けつくような暑さに、熱中症対策の呼びかけが飛び交った。1時間の集会のあとバスで町役場裏の駐車場に移動しデモの準備。デモ出発。300名のデモ隊が、「老朽原発うごかすな」「再稼働絶対はんたい」などの旗が林立し壮観。関電原子力事業本部前では、高らかなシュプレヒコールで事業本部を圧倒し、明瞭な声で「申入書」が読み上げられ、代表が手渡した。